



うむさの教育

第4号(平和学習)
令和4年6月17日(金)
発行者: 校長 岡越 猛

(命こそ宝) ぬちどうたから

6月23日(木)は、慰霊の日。沖縄での組織的な戦闘が終わった日とされています。

そして、2022年は沖縄が本土復帰50周年を迎え、去った5月15日復帰50周年記念式典があり、「先の大戦で悲惨な地上戦の舞台となり、戦後も約27年間にわたり日本国の施政下から外れた沖縄は、日米両国の友好と信頼に基づき、50年前の今日、本土への復帰を果たしました。大戦で多くの尊い命が失われた沖縄において、人々は「ぬちどうたから」(命こそ宝)の思いを深められたと伺っていますが、その後も苦難の道を行ってきた沖縄の人々の歴史に思いを致しつつ、この式典に臨むことに深い感慨を覚えます。中略。一方で、沖縄には、今なお様々な課題が残されています。今後、若い世代を含め、広く国民の沖縄に対する理解が更に深まることを希望するとともに、今後とも、これまでの人々の思いと努力が確実に受け継がれ、豊かな未来が沖縄に築かれることを心から願っています。」との言葉がありました。

<復帰50周年関連行事等>

- 5月15日 復帰50周年記念式典
- 8月1日～9日 第2回沖縄空手世界大会・第1回沖縄空手少年少女世界大会
- 8月予定 高校生提案復帰50周年記念事業
- 9月～11月 沖縄県高等学校総合文化祭
- 10月22日～11月27日 美ら島おきなわ文化祭2022(第37回国民文化祭第22回全国障害者芸術・文化祭)
※糸満市(特別支援学校音楽発表会:11月19日(土)予定)
- 10月30日～11月3日 第7回世界のウチナーンチュ大会、令和首里城復興イベント

<本校の取り組み>



6月は<平和学習月間>取り組みとして6月9日(木)に、名護市博物館の大嶺氏を午前(幼小中)・午後(高)と招待し講演をいただきました。午前中には、名護市作成の紙芝居「山が泣いた日」を小中学部の職員が朗読。児童生徒は集中して聞いて

ていました。午後の高等部の講演「沖縄戦と名護～沖縄戦から本土復帰、そして50年の今」と題し写真・スライドを中心に、名護市の移り変わりを学習する機会となりました。

終戦は1945年、復帰は1972年で私ども教職員も復帰以降の職員が増える中、「平和の尊さ」「ぬちどうたから」(命こそ宝)を、学校教育を通して継続していくことが大切だと考えます。

沖縄戦(スライド資料より)

- ・1945年(昭和20年)3月26日 米軍慶良間諸島上陸
- ・ 4月1日 米軍本島上陸
- ・ 4月7日 米軍名護湾上陸 八重岳、嘉津宇岳、名護岳、多野岳に避難
北部に収容所(辺土名、田井等、瀬高、大浦崎、古知屋、宜野座等)



図書室では、児童生徒から寄せられた平和のメッセージを展示しています。

ウクライナ侵攻、アフリカ各地の内戦、中東等々、世界各地では未だに紛争が絶えません。子どもたちに明るい未来を、心の平穏を願います。

